

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	3 教育方法
中項目	
小項目	3.0.1 授業を行う学生数
要素	会計大学院においては、少人数による双方向的又は多方向的な密度の高い教育が行われなければならないことが基本であることにかんがみ、一の授業科目について同時に授業を行う学生数が、この観点から適切な規模に維持されていること。
小項目	3.0.2 授業の方法
要素	会計大学院における授業は、次に掲げる事項を考慮したものであること。 (1) 専門的な会計知識を確実に修得させるとともに、事実に基づいて具体的な問題を解決していくために必要な分析能力及び議論の能力、会計判断を関係当事者に正しく伝える能力その他の会計職業人として必要な能力を育成するために、授業科目の性質に応じた適切な方法がとられていること。 (2) 1年間の授業の計画、各科目における授業の内容及び方法、成績評価の基準と方法があらかじめ学生に周知されていること。 (3) 授業の効果を十分にあげられるよう、授業時間外における学習を充実させるための措置が講じられていること。
小項目	3.0.3 履修科目登録単位数の上限
要素	会計大学院における各年次において、学生が履修科目として登録することのできる単位数はモデルカリキュラム等を参考に各会計大学院で適切に設定すること。

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. クラスサイズについて、2005年度から2007年度の平均である17.2人前後を維持する。	→各開講科目の履修者数	C	C	B	/	/
2. 50名を超える履修者がいるクラスには、クラス分割クラス指定等の措置を検討する。	→各開講科目の履修者数	C	C	B	/	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2011年度のクラス別平均履修者数は、12.7人であった。
☆ 目標2	50名を超える履修者がいるクラスは生じていない。
備考	